

† 研究演習 I (要約版)

■担当者

教授 中野 幸紀

YUKINORI NAKANO

■副題

フィールドワークによる「国際産業政策とサイバー経済社会の研究 I」

■講義目的

「世界遺産の保全と経済開発」、「ICT を活用する国際産業発展政策」、「持続可能なエネルギー社会の構築」などに関する現地フィールドワークの実施に必要な知識と経験の蓄積などに取り組む。あわせて、メゾ・マクロ経済分析の手法としての産業連関分析の習得、電波利用に必要な無線従事者資格の取得などに取り組む。

■各回ごとの授業内容

春学期：

1～2 自己紹介、中野ゼミ・グループウェアアクセス、Blog アクセス、研究演習ノート作成指導など

3～10 経済学入門「経済学の歴史」

11 EU 拡大とトルコ加盟問題グループ研究発表

12 日本スイス自由貿易協定研究グループ発表

13～15 7月の無線従事者国家試験の準備、夏期休暇期間中のフィールドワークおよび合宿研究会の準備、リサーチフェアグループ発表申し込みなど

夏休み： フランス・フィールドワーク、霞が関フィールドワークなどの現地調査及び／又はゼミ生の希望による合宿研究会 [グループワーク] の実施

秋学期： 学生によるグループ課題の自主設定、リサーチフェア・グループ発表準備、進級論文指導など

春休み： 現地調査

■成績評価方法・基準

出席回数、口頭発表、フィールドワークの企画などのゼミ運営における貢献度、リサーチフェア口頭発表とその内容、進級論文（特に論文形式）などを総合的に評価。

備考：

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

海外フィールドワークを積極的に企画・実施することができるよう準備しておくこと

■キーワード

フランスにおけるフィールドワーク、世界遺産フィールドワーク、国際産業政策、技術移転政策、貿易開発政策、産業連関分析、電波利用など

† 研究演習Ⅱ（要約版）

■担当者

教授 中野 幸紀

YUKINORI NAKANO

■副題

フィールドワークによる「国際産業政策とサイバー経済社会の研究Ⅰ」

■講義目的

「世界遺産の保全と経済開発」、「ICT を活用する国際産業発展政策」、「持続可能なエネルギー社会の構築」などに関する現地フィールドワークを実施し、あわせて、電波利用に関するスキルを習得するなど、フィールドワークの実施に必要な経験を蓄積する。

■各回ごとの授業内容

春学期：

- 1 卒業論文準備に向けてオリエンテーション
- 2 進級論文の講評と論文の書き方再指導
- 3～10 世界遺産サイト、現地政府、行政機関などへののフィールドワークの準備（ロジとサブ）
- 11～12 フィールドワークに必要な電波利用技術の現地指導
- 13 フィールドワーカーのための無線技術の実践（アマ無線、WiFi ネットワーク構築など）
- 14～15 夏期休暇期間中の現地調査及び合宿研究会の準備 リサーチフェア・グループ発表申請

夏休み： フランス・フィールドワーク、霞が関フィールドワークなどの遠隔地における現地調査又は合宿研究会〔グループワーク〕の実施

秋学期： 学生によるグループ研究課題の設定、リサーチフェア・グループ発表指導、卒業論文グループ指導など

■成績評価方法・基準

出席回数、口頭発表、フィールドワークの企画などのゼミ運営における貢献度、リサーチフェア口頭発表とその内容、進級論文（特に論文形式）などを総合的に評価。

備考：

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

フランス・フィールドワーク、世界遺産フィールドワークなどを企画・実施することができるようゼミメンバー・グループでそれぞれフィールド調査課題を準備しておくこと

■キーワード

フランスにおけるフィールドワーク、世界遺産フィールドワーク、国際産業政策、技術移転政策、貿易開発政策、産業連関分析、電波利用など